

令和4年度事業報告書

1. 事務所

東京都千代田区九段北4-1-20 歯科医師会館内

2. 設立年月日

平成12年12月1日（平成23年4月1日より公益財団法人認定）

3. 基本財産

392,000,063 円

4. 役員（令和5年3月31日現在）

役 職	氏 名	所 属 団 体 等
理 事 長	堀 憲 郎	(公社) 日本歯科医師会会長
副理事長	吉 岡 貴 司	サンスター(株) 取締役副会長
副理事長	佐 藤 保	(公社) 日本歯科医師会副会長
専務理事	小 玉 剛	(公社) 日本歯科医師会常務理事
常務理事	海 野 仁	(公社) 日本歯科医師会常務理事
常務理事	尾 松 素 樹	(公社) 日本歯科医師会常務理事
常務理事	小 山 茂 幸	(公社) 日本歯科医師会常務理事
理 事	芦 谷 浩 明	(株) ロッテ執行役員中央研究所所長
理 事	飯 島 勝 矢	東京大学高齢社会総合研究機構機構長
理 事	上 野 尚 雄	国立がん研究センター中央病院歯科医長
理 事	川 口 陽 子	(一社) 日本歯科医学会連合副理事長
理 事	住 友 雅 人	日本歯科医学会会長
理 事	谷 征 大	(株) ロッテ中央研究所チューイング研究部部長
理 事	柘 植 紳 平	(公社) 日本学校歯科医会副会長
理 事	鳥 山 佳 則	東京歯科大学短期大学学長
理 事	中 尾 潔 貴	(一社) 日本歯科商工協会会長
理 事	中 谷 道 子	サンスター(株) 広報部長
理 事	西 永 英 司	ライオン(株) 研究開発本部副本部長兼戦略統括部長
理 事	福 田 雅 臣	日本歯科大学生命歯学部衛生学講座教授
理 事	丸 山 博 之	サンスター(株) プロケアチャネル営業部学術情報グループ長
理 事	山 本 秀 樹	(公社) 日本歯科医師会常務理事
理 事	山 本 美登里	日本歯科総合研究機構主任研究員
理 事	吉 田 直 美	(公社) 日本歯科衛生士会会長
監 事	長 尾 博 通	(一社) 大分県歯科医師会前会長
監 事	平 田 幸 夫	神奈川歯科大学名誉教授

5. 評議員 (令和5年3月31日現在)

氏 名	所 属 団 体 等
藤 原 元 幸	(一社)秋田県歯科医師会会長
松 井 克 之	(公社)神奈川県歯科医師会会長
井 上 恵 司	(公社)東京都歯科医師会会長
伊 藤 正 明	(一社)長野県歯科医師会会長
澤 田 隆	(一社)兵庫県歯科医師会会長
甲 野 峰 基	(一社)広島県歯科医師会顧問
宮 口 厳	(一社)長崎県歯科医師会顧問
杉 岡 範 明	(公社)日本歯科技工士会前会長
齋 藤 秀 子	(公社)日本学校歯科医会副会長
宮 内 啓 友	(一社)日本歯科商工協会理事
渡 邊 浩 次	サンスター(株)営業本部プロケアチャンネル営業統括部長
満 武 純	ライオン歯科材(株)シニアフェロー
岡 林 一 登	(株)ロッテ中央研究所かむこと研究部部長
川 治 久 邦	パナソニック(株)アプライアンス社 ビューティ・パーソナル事業部 パーソナルビジネスユニット パーソナルブランドマネジメント部部長
鎗 溝 和 子	(公社)母子保健推進会議常務理事
三 橋 裕 行	(一社)日本家族計画協会代表理事理事長
安 藤 孝	(公財)母子衛生研究会常務理事
下 浦 佳 之	(公社)日本栄養士会専務理事
田 中 久美子	(一財)日本食生活協会会長
多田羅 浩 三	(一財)日本公衆衛生協会名誉会長

6. 事務局

職員4名 嘱託1名

7. 賛助会員

(令和5年3月31日現在)

A会員(歯科医師会) 248 歯科医師会

日本歯科医師会(1)、都道府県歯科医師会(47)、郡市区歯科医師会(200)

B会員(団体・会社) 38 団体・会社

○団体

日本歯科衛生士会、日本歯科技工士会、日本学校歯科医会、日本歯科器械工業協同組合、日本歯科材料工業協同組合、日本歯科用品卸商業組合、日本歯科用品輸入協会、日本歯材同友会、日本歯科用品商協同組合連合会、日本歯磨工業会 他(13 団体)

○企業

サンスター(株)、ライオン(株)、(株)ロッテ、パナソニック(株)、昭和薬品化工(株)、デンタルプロ(株)、アサヒプリテック(株) 他(25 社)

C会員(個人) 217 名

○歯科医師(115 名)

○歯科医師以外の個人(102 名)

8. 会 議

(1) 理事会

① 第4回理事会

開催日時 令和4年5月27日（金）午前11時～11時45分

場 所 東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館701・702会議室

出席者 出席理事数22名、出席監事数2名

出席した理事の氏名

堀 憲郎、佐藤 保、小玉 剛、海野 仁、尾松素樹、小山茂幸、住友雅人、
柘植紳平、丸山博之、山本秀樹、山本美登里

Web会議により出席した理事の氏名

吉岡貴司、芦谷浩明、飯島勝矢、上野尚雄、川口陽子、谷 征大、鳥山佳則、
中尾潔貴、西永英司、福田雅臣、吉田直美

出席した監事の氏名

長尾博通、平田幸夫

欠席者 欠席理事数1名

欠席した理事の氏名

川埜晋治

議長の氏名

定款第39条の規定に基づき、堀 憲郎理事長が議長に当たった。

理事会の議事の経過の要領及びその結果

会議の成立

冒頭で小玉専務理事が理事総数23名のうち過半数の22名の出席を確認し、定足数の充足を報告。定款第40条「理事会は、理事の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。」を満たしているため、議長が本会議の成立を宣した。

また本理事会はWeb会議システムを使用して開催する理事会であること、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることを確認し、議案の審議に入った。

1. 開会の辞

副理事長 佐 藤 保

2. 挨拶

理 事 長 堀 憲 郎

3. 報 告

議長の求めに応じ、理事より以下の職務執行報告が行われた。

(1) 会務報告

議長の求めに応じ、小玉専務理事より会務現況として、以下の事項について報告がなされた。

①第3回理事会の開催、②第21回評議員会の開催、③監事会の開催、④ロゴマーク普及事業、⑤8020運動ポスター募集事業、⑥助成事業（歯科保健活動助成事業・8020公募研究事業）、⑦国民向け啓発小冊子の作成・配布、⑧理事長賞の贈呈、⑨後援名義使用の許可、⑩調査研究事業、⑪8020アンケート・プレゼントキャンペーン（第12弾）

(2) その他

4. 議 事

第1号議案 理事辞任に伴う後任理事の選任について

小玉専務理事より、定款第27条第1項「理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。」の規定により、以下のとおり、理事辞任に伴う後任の理事を令和4年6月15日開催の第22回評議員会において選任する旨の提案がなされ、全員異議なく承認した。

なお、任期は款第30条第3項「補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。」の規定により、前任者の任期満了時の令和5年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

辞任理事	後任理事候補者
川埜 晋治 サンスター(株)執行役員 プロフェッショナルリレーション担当	中谷 道子 サンスター(株) 広報部長

第2号議案 第22回評議員会の開催について

小玉専務理事より、定款第36条理事会の権限第1項「評議員会の日時及び場所並びに目的である事項の決定」の規定により、以下のとおり第22回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について提案がなされ、全員異議なく承認した。

公益財団法人8020推進財団 第22回 評議員会議事次第	
開催日時	令和4年6月15日(水) 午前11時
開催場所	歯科医師会館 3階会議室(We b併用)
1. 開会の辞	
2. 議長の選出	
3. 議事録署名人の選任	
4. 挨拶	
5. 報告	
	①会務報告
	②その他
6. 議 事	
	第1号議案 理事辞任に伴う後任理事の選任の件
	第2号議案 令和3年度事業報告及び収支決算の件
7. 協 議	
	① 第20回フォーラム8020について
	② その他
8. 閉会の辞	

第3号議案 令和3年度事業報告及び収支決算について

定款第10条第1項「本財団の事業報告及び決算は、毎事業年度終了後、理事長が事業報告書及び計算書類並びにこれらの附属明細書、財産目録として作成し、監事の監査を受け、理事会において承認を経たうえで、定時評議員会の承認を得るものとする。」の規定により、令和4年6月15日開催の第22回評議員会にて諮る旨提案がなされた。

小玉専務理事より令和3年度事業報告について、海野常務理事より令和3年度収支決算について、貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書、財産目録に関して、資料に基づき説明がなされた。また、コロナ禍により令和2年度に引き続き令和3年度においても、公益目的事業において剰余金が生じているため、これを特定費用準備資金として積立て、将来にわたって計画的に公的目的事業の事業費に充てていくことが説明されたのち、長尾監事より監査報告が行われ、全員異議なく承認した。

① 調査研究等実施積立資産

- ・調査研究事業等検討会での課題整理・企画に基づく調査研究費
- ・計画期間：令和3年度～令和10年度（8年間）
- ・実施予定：令和5年度～令和10年度
- ・1,140万円（支出見込額及び過去実績に基づき算出）

② 情報収集管理環境構築積立資産

- ・調査研究事業等のデータ保管・情報収集管理サーバーの構築費
- ・計画期間：令和3年度～令和5年度（3年間）
- ・実施予定：令和4年度～令和5年度
- ・380万円（支出見込額及び過去実績に基づき算出）

③ HPリニューアル積立資産

- ・HPリニューアル費用
- ・計画期間：令和3年度～令和9年度（7年間）
- ・実施予定：令和9年度
- ・500万円（支出見込額及び過去実績に基づき算出）

第4号議案 調査研究事業等検討会の設置について

小玉専務理事より定款4条1項（3）「8020運動の推進に必要な調査及び研究に関する事業」に基づき調査研究事業等検討会規程の制定及び本検討会の設置とその委員について提案がなされ全員異議無く承認した。

5. 協 議

（1）第20回フォーラム8020について

佐藤副理事長より、第20回フォーラム8020について説明がなされたのち、議長の求めに応じ意見交換がなされた。

（2）その他

6. 閉会の辞

専務理事 小 玉 剛

議事録署名人

理 事 長	堀	憲 郎
監 事	長 尾	博 通
監 事	平 田	幸 夫

② 第5回理事会

開催日時 令和4年9月28日（水）午後1時～1時45分

場 所 東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館701・702会議室

出席者 出席理事数21名、出席監事数2名

出席した理事の氏名

堀 憲郎、佐藤 保、小玉 剛、海野 仁、飯島勝矢、福田雅臣、山本秀樹、山本美登里

Web会議により出席した理事の氏名

吉岡貴司、尾松素樹、上野尚雄、川口陽子、住友雅人、谷 征大、柘植紳平、鳥山佳則、
中尾潔貴、中谷道子、西永英司、丸山博之、吉田直美

出席した監事の氏名

平田幸夫

Web会議により出席した監事の氏名

長尾博通

欠 席 者 欠席理事数2名

欠席した理事の氏名

小山茂幸、芦谷浩明

議長の氏名

定款第39条の規定に基づき、堀 憲郎理事長が議長に当たった。

理事会の議事の経過の要領及びその結果

会議の成立

冒頭で小玉専務理事が理事総数23名のうち過半数の21名の出席を確認し、定足数の充足を報告。定款第40条「理事会は、理事の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。」を満たしているため、議長が本会議の成立を宣した。

また本理事会はWeb会議システムを使用して開催する理事会であること、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いに行える仕組みとなっていることを確認し、議案の審議に入った。

1. 開会の辞

副理事長 佐 藤 保

2. 挨拶

理 事 長 堀 憲 郎

3. 報 告

議長の求めに応じ、理事より以下の職務執行報告が行われた。

(1) 会務報告

議長の求めに応じ、小玉専務理事より会務現況として、以下の事項について報告がなされた。

①第4回理事会の開催、②第22回評議員会の開催、③会誌「8020」の発行、④第20回フォーラム8020、⑤噛むカムチェックガムを用いた8020普及啓発事業、⑥ロゴマークの普及事業、⑦令和4年度歯科保健活動事業報告会・公募研究発表会、⑧後援名義使用の許可、⑨都道府県歯科保健条例の制定状況、⑩調査研究事業、⑪助成事業（歯科保健活動助成事業・8020公募研究事業）⑫ホームページの整備、⑬会計関係、⑭その他

(2) その他

4. 議 事

第1号議案 令和4年度歯科保健活動事業の採択及び助成額について

小玉専務理事より、地域歯科保健活動への助成事業として地域歯科保健活動推進委員会より報告のあった審査結果に基づき令和4年度歯科保健活動事業を採択し、助成交付を行う旨の説明がなされ全員意義なく承認した。なお、審議対象の岩手県歯科医師会の会長である佐藤副理事長、東京都東久留米市歯科医師会の顧問である小玉専務理事、東京都立川市歯科医師会の顧問である山本理事は「特別の利害関係を有する理事」に該当するため、議決に参加していない。

第2号議案 令和4年度公募研究課題の採択及び助成額について

小玉専務理事より、8020達成のための歯科保健に係わる公募研究に対する助成事業として8020調査研究委員会より報告のあった審査結果に基づき令和4年度公募研究課題を採択し、助成交付を行う旨の説明がなされ、全員意義なく承認した。

第3号議案 個人情報保護方針及び個人情報管理規程の一部改正について

小玉専務理事より、個人情報保護方針及び個人情報管理規程の一部改正について定款36条理事会の権限第1項(2)「規則の制定、変更及び廃止に関する事項」に基づき提案がなされ、全員異議なく承認した。

5. 協 議

(1) 第20回フォーラム8020について

佐藤副理事長より、第20回フォーラム8020について説明がなされたのち、議長の求めに応じ意見交換がなされた。

(2) その他

6. 閉会の辞

専務理事 小 玉 剛

議事録署名人

理 事 長	堀	憲 郎
監 事	長 尾	博 通
監 事	平 田	幸 夫

③ 第6回理事会

開催日時 令和5年2月17日(金) 午前11時～11時50分

場 所 東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館801・802会議室

出席者 出席理事数21名、出席監事数2名

出席した理事の氏名

堀 憲郎、吉岡貴司、佐藤 保、小玉 剛、海野 仁、尾松素樹、小山茂幸、
住友雅人、西永英司、福田雅臣、山本秀樹、山本美登里

W e b 会議により出席した理事の氏名

芦谷浩明、飯島勝矢、上野尚雄、川口陽子、谷 征大、柘植紳平、鳥山佳則、
中尾潔貴、吉田直美

出席した監事の氏名

長尾博通、平田幸夫

欠 席 者 欠席理事数 2 名

欠席した理事の氏名

中谷道子、丸山博之

議長の氏名

定款第 3 9 条の規定に基づき、堀 憲郎理事長が議長に当たった。

理事会の議事の経過の要領及びその結果

会議の成立

冒頭で小玉専務理事が理事総数 2 3 名のうち過半数の 2 1 名の出席を確認し、定足数の充足を報告。定款第 4 0 条「理事会は、理事の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。」を満たしているため、議長が本会議の成立を宣した。

また本理事会はW e b 会議システムを使用して開催する理事会であること、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いに行える仕組みとなっていることを確認し、議案の審議に入った。

1. 開会の辞

副理事長 佐 藤 保

2. 挨拶

理 事 長 堀 憲 郎

3. 報 告

議長の求めに応じ、理事より以下の職務執行報告が行われた。

(1) 会務報告

議長の求めに応じ、小玉専務理事より会務現況として、以下の事項について報告がなされた。

①第 5 回理事会の開催、②会誌「8 0 2 0」の発行、③国民向け啓発小冊子の作成・配布、
④第 2 0 回フォーラム 8 0 2 0、⑤ 8 0 2 0 運動ポスター、⑥理事長賞の贈呈、⑦噛む
カムチェックガムを用いた 8 0 2 0 普及啓発事業、⑧ロゴマークの普及事業、⑨調査研究
事業、⑩調査研究事業等検討会、⑪助成事業（歯科保健活動助成事業・8 0 2 0 公募研究
事業、公募研究課題の論文作成状況アンケートの実施）⑫後援名義使用の許可、⑬ホーム
ページの整備、⑭歯科口腔保健法の制定及び歯科保健条例の制定マップ、⑮ 8 0 2 0
アンケート・プレゼントキャンペーン（第 1 3 弾）

(2) その他

議長の求めに応じ、海野常務理事より「財産運用に関する経過報告」、佐藤副理事長から「令和4年度の調査研究事業」について、小玉専務理事より「調査研究事業等検討会中間報告書」について報告がなされた。

4. 議 事

第1号議案 第23回評議員会の開催について

小玉専務理事より、定款第36条理事会の権限第1項「評議員会の日時及び場所並びに目的である事項の決定」の規定により、以下のとおり第23回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について提案がなされ、全員異議なく承認した。

公益財団法人8020推進財団

第23回 評議員会議事次第

日 時 令和5年3月8日（水）午後2時
場 所 歯科医師会館 1階大会議室（WEB併用）

1. 開会の辞
2. 議長の選出
3. 議事録署名人の選任
4. 挨拶
5. 報 告
 - (1) 会務報告
 - (2) 令和5年度賛助会費の額
 - (3) 令和5年度事業計画及び収支予算
 - (4) 資金調達及び設備投資の見込みについて
 - (5) その他
6. 協 議
 - (1) 調査研究事業等検討会の中間報告書について
 - (2) その他
7. 閉会の辞

第2号議案 令和5年度賛助会費の額

海野常務理事より、令和5年度の賛助会費の額を令和4年度と同額とする旨、提案がなされ、全員異議なく承認した。

第3号議案 令和5年度事業計画及び収支予算

小玉専務理事より、事業計画の基本方針、事業内容について資料に基づき提案がなされたのち、海野常務理事より、令和5年度収支予算について以下の通り提案がなされ、全員異議なく承認した。

5年度収支予算はOAG税理士法人の指導を受けて新公益法人会計基準に則り作成し、経常収益計は123,621,000円、経常費用計は127,365,000円、当期経常増減額は△3,744,000円。経常外増減の部の増減はなし、指定正味財産の増減の部の増減はなし、

当期一般正味財産増減額は△3,744,000円、正味財産期末残高は757,811,854円となる。

また、損益計算ベースは収支予算書を基に、OAG税理士法人の指導を受けて新公益法人会計基準に則り作成している。この損益計算ベースは、「減価償却費」及び「退職給付引当金」（但しゼロ円）についての記載もある。内閣府への報告は、この損益計算ベースの収支予算をもって行う。

第4号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて

海野常務理事より令和5年4月1日から令和6年3月31日までの見込みについて、以下の通り提案され、全員異議なく承認した。

資金調達の見込みについては、当期中における金融機関からの借り入れの予定はない。

設備投資の見込みについては当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定はない。

令和5年度事業は令和4年度事業を基本的に踏襲し実施することとしており、新規事業における「資金調達及び設備投資の見込みについて」は特に発生しない。

5. 協 議

(1) 調査研究事業等検討会の中間報告書について

小玉専務理事より、今年度の調査研究事業等検討会の進捗状況などの説明がなされたのち、意見交換がなされた。

(2) その他

6. 閉会の辞

専務理事 小 玉 剛

議事録署名人

理 事 長	堀 憲 郎
監 事	長 尾 博 通
監 事	平 田 幸 夫

(2) 評議員会

① 第22回評議員会

日 時：令和4年6月15日（水）午前11時～11時45分

場 所：東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館3階会議室

出席者：出席評議員数18名 出席理事数21名 出席監事数2名

出席した評議員の氏名

藤原元幸、井上恵司、満武 純、宮内啓友、渡邊浩次

Web会議により出席した評議員の氏名

松井克之、澤田 隆、甲野峰基、宮口 厳、杉岡範明、齋藤秀子、川治久邦、岡林一登、鎗溝和子、三橋裕行、安藤 孝、下浦佳之、田中久美子

出席した理事の氏名

堀 憲郎、佐藤 保、小玉 剛、海野 仁、尾松素樹、小山茂幸、飯島勝矢、住友雅人、山本秀樹、山本美登里

Web会議により出席した理事の氏名

吉岡貴司、芦谷浩明、上野尚雄、川口陽子、谷 征大、柘植紳平、中尾潔貴、
西永英司、福田雅臣、丸山博之、吉田直美

出席した監事の氏名

長尾博通、平田幸夫

欠席者：欠席評議員2名 欠席理事数2名

欠席した評議員の氏名

伊藤正明、多田羅浩三

欠席した理事の氏名

川埜晋治、鳥山佳則

議長の氏名

定款第21条の規定に基づき、満武評議員が議長に当たった。

議事録署名人：井上恵司、渡邊浩次

評議員会の議事の経過の要領及びその結果

○会議の成立

開会に先立ち、小玉専務理事より日程の一部を変更し、定款第21条「評議員会の議長は、その評議員会において、出席した評議員の中から選出する。」の規定に基づき、議長を執行部一任のもと選出する旨が提案され、満武評議員が議長に選出された。

議長が出席者数を確認し、評議員総数20名のうち過半数の18名が出席となり、定款第22条「評議員会は、評議員の過半数の出席がなければ開催することができない。」を満たしている旨を報告し、開会を宣した。

また本評議員会はWeb会議システムを使用して開催する評議員会であること、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることを確認し、議案の審議に入った。

○議長の選出

小玉専務理事より定款第21条の規定に基づき、満武評議員を議長に選出したい旨、提案があり、全員異議なく承認した。

○議事録署名人の選任

小玉専務理事より定款第24条第2項「議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が、署名、押印をしなければならない。」の規定に基づき井上評議員、渡邊評議員を選任したい旨、提案があり全員異議なく承認した。

1. 報告

(1) 会務報告

小玉専務理事より、会務現況として以下の事項について報告がなされた。

①第3回理事会の開催、②第21回評議員会の開催、③監事会の開催、④ロゴマーク普及事業、⑤8020運動ポスター募集事業、⑥助成事業（歯科保健活動助成事業・8020公募研究事業）、⑦国民向け啓発小冊子の作成・配布、⑧理事長賞の贈呈、⑨後援名義使用の許可、⑩調査研究事業、⑪8020アンケート・プレゼントキャンペーン（第12弾）

2. 決議事項

第1号議案 理事辞任に伴う後任理事の選任の件

小玉専務理事より、定款第27条第1項「理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。」の規定により、以下のとおり辞任に伴い後任の理事を選任する旨の説明がなされ全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第30条第3項「補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。」の規定により、前任者の任期満了時の令和5年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

辞任理事	後任理事候補者
川埜 晋治 サンスター(株)執行役員 プロフェッショナルリレーション担当	中谷 道子 サンスター(株) 広報部長

第2号議案 令和3年度事業報告及び収支決算の件

定款第10条第1項「本財団の事業報告及び決算は、毎事業年度終了後、理事長が事業報告書及び計算書類並びにこれらの附属明細書、財産目録として作成し、監事の監査を受け、理事会において承認を得たうえで、定時評議員会の承認を得るものとする。」の規定に基づき、小玉専務理事より令和3年度事業報告について、海野常務理事より令和3年度収支決算について、貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書、財産目録に関して、資料に基づき説明がなされた。

また、コロナ禍により令和2年度に引き続き令和3年度においても、公益目的事業において剰余金が生じているため、これを特定費用準備資金として積立て、将来にわたって計画的に公的目的事業の事業費に充てていくことが説明されたのち、長尾監事より監査報告が行われ、全員異議なく承認した。

- ① 調査研究等実施積立資産
 - ・調査研究事業等検討会での課題整理・企画に基づく調査研究費
 - ・計画期間：令和3年度～令和10年度（8年間）
 - ・実施予定：令和5年度～令和10年度
 - ・1,140万円（支出見込額及び過去実績に基づき算出）
- ② 情報収集管理環境構築積立資産
 - ・調査研究事業等のデータ保管・情報収集管理サーバーの構築費
 - ・計画期間：令和3年度～令和5年度（3年間）
 - ・実施予定：令和4年度～令和5年度
 - ・380万円（支出見込額及び過去実績に基づき算出）
- ③ HPリニューアル積立資産
 - ・HPリニューアル費用
 - ・計画期間：令和3年度～令和9年度（7年間）
 - ・実施予定：令和9年度
 - ・500万円（支出見込額及び過去実績に基づき算出）

3. 協議事項

(1) 第20回フォーラム8020について

佐藤副理事長より、第20回フォーラム8020について説明がなされたのち、議長の求めに応じ意見交換がなされた。

(2) その他

議事録署名人

議 長	満 武	純
評議員	井 上	恵 司
評議員	渡 邊	浩 次

② 第23回評議員会

日 時：令和5年3月8日（水）午後2時～2時55分

場 所：東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館1階大会議室

出席者：出席評議員数16名 出席理事数19名 出席監事数2名

出席した評議員の氏名

甲野峰基、齋藤秀子、宮内啓友、満武 純、三橋裕行

Web会議により出席した評議員の氏名

藤原元幸、松井克之、澤田 隆、宮口 厳、杉岡範明、渡邊浩次、川治久邦、岡林一登、鎗溝和子、安藤 孝、下浦佳之

出席した理事の氏名

堀 憲郎、佐藤 保、小玉 剛、海野 仁、尾松素樹、小山茂幸、飯島勝矢、西永英司、福田雅臣、丸山博之、山本秀樹、山本美登里

Web会議により出席した理事の氏名

吉岡貴司、芦谷浩明、上野尚雄、谷 征大、鳥山佳則、中谷道子、吉田直美

出席した監事の氏名

長尾博通、平田幸夫

欠席者：欠席評議員4名 欠席理事数4名

欠席した評議員の氏名

井上恵司、伊藤正明、田中久美子、多田羅浩三

欠席した理事の氏名

川口陽子、住友雅人、柘植紳平、中尾潔貴

議長の氏名

定款第21条の規定に基づき、満武 純評議員が議長に当たった。

議事録署名人：齋藤秀子、三橋裕行

評議員会の議事の経過の要領及びその結果

○会議の成立

開会に先立ち、小玉専務理事より日程の一部を変更し、定款第21条「評議員会の議長は、その評議員会において、出席した評議員の中から選出する。」の規定に基づき、議長を執行部一任のもと選出する旨が提案され、満武評議員が議長に選出された。

議長が出席者数を確認し、評議員総数20名のうち過半数の16名が出席となり、定款第22条「評議員会は、評議員の過半数の出席がなければ開催することができない。」を満たしている旨を報告し、開会を宣した。

また、本評議員会はWeb会議システムを使用して開催する評議員会であること、出席

者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることを確認し、議案の審議に入った。

○議長の選出

小玉専務理事より定款第21条の規定に基づき、満武評議員を議長に選出したい旨、提案があり、全員異議なく承認した。

○議事録署名人の選任

小玉専務理事より定款第24条第2項「議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が、署名、押印をしなければならない。」の規定に基づき齋藤評議員、三橋評議員を選任したい旨、提案があり全員異議なく承認した。

1. 報告

(1) 会務報告

小玉専務理事より、会務現況として以下の事項について報告がなされた。

①第22回評議員会の開催、②第5回理事会の開催、③会誌「8020」の発行、④国民向け啓発小冊子の作成・配布、⑤第20回フォーラム8020、⑥8020運動ポスター、⑦理事長賞の贈呈、⑧噛むカムチェックガムを用いた8020普及啓発事業、⑨ロゴマークの普及事業、⑩令和4年度歯科保健活動事業報告会・公募研究発表会、⑪調査研究事業、⑫調査研究事業等検討会、⑬助成事業(歯科保健活動助成事業・8020公募研究事業、公募研究課題の論文作成状況アンケートの実施) ⑭後援名義使用の許可、⑮ホームページの整備、⑯歯科口腔保健法の制定及び歯科保健条例の制定マップ、⑰8020アンケート・プレゼントキャンペーン(第13弾)

(2) 令和5年度賛助会費の額

(3) 令和5年度事業計画及び収支予算

(4) 資金調達及び設備投資の見込みについて

(5) その他

議長の求めに応じ、海野常務理事より「財産運用」、佐藤副理事長から「令和4年度の調査研究事業の経過報告」について報告がなされた。

2. 協議事項

(1) 調査研究事業等検討会の中間報告書について

小玉専務理事より、今年度の調査研究事業等検討会の進捗状況などの説明がなされたのち、意見交換がなされた。

(2) その他

議事録署名人

議 長	満 武	純
評議員	齋 藤	秀 子
評議員	三 橋	裕 行

(3) 委員会等

令和4年度事業計画に基づき事業を推進するため、下記の委員会を開催した。

① ロゴマーク使用許可審査委員会

書面審査	令和4年	6月	8日	サンスター株式会社
書面審査	令和4年	7月	1日	サンスター株式会社
書面審査	令和4年	8月	8日	サンスター株式会社 (2件)
書面審査	令和4年	8月	17日	サンスター株式会社 (2件)
書面審査	令和4年	12月	22日	サンスター株式会社 (2件)
書面審査	令和5年	1月	16日	サンスター株式会社
書面審査	令和5年	2月	20日	サンスター株式会社

② 会誌編集委員会

第1回委員会 令和4年 6月 1日

③ 広報委員会

第1回委員会 令和4年 6月 1日

④ 地域歯科保健活動推進委員会

第2回委員会 令和4年 8月 31日

⑤ 8020調査研究委員会

第2回委員会 令和4年 8月 31日

⑥ 8020ポスター審査会

令和4年度審査会 令和4年 11月 2日

⑦ 調査研究事業等検討会

第1回検討会 令和4年 10月 25日
第2回検討会 令和4年 12月 7日
第1回小委員会 令和5年 1月 24日
第2回小委員会 令和5年 1月 26日

9. 事業活動

(1) 会誌「8020」の発行

会誌「8020」は、日常生活で役立つ歯と口の健康情報と歯科関係者に役立つ専門的な情報や本財団の事業報告などを盛り込み、年1回発行している。

令和4年度(22号)は「食することで健康管理! 口からはじめる生活習慣病対策」をテーマに制作した。本会誌は賛助会員のみならず、関係団体や全国保健所等への配布を通じて広く情報発信し、ホームページに掲載することで8020運動や本財団の活動内容の周知を進めている。

(2) 国民向け啓発小冊子の作成・配布

8020運動の普及と8020達成に役立つ啓発小冊子を作成し、全国の保健所・行政・関係団体を通じて広く配布し、国民に周知している。

啓発小冊子の企画・制作は嘱託を中心に、テーマ・年齢層を固定せず、様々な世代が日常生活で役立つ歯と口の健康情報を取りあげて作成している。

① 「からだの健康は歯とお口から～歯周病予防で健康力アップ～」

全世代に関係が深い、歯周病が全身の健康に及ぼす影響と口腔ケアをテーマとした小冊子「からだの健康は歯とお口から～歯周病予防で健康力アップ～」を作成し、令和5年2月に賛助会員並びに全国の保健所、行政等の各関係方面に15万部を作成・配布し、ホームページにも掲載した。なお、本事業は一般財団法人宝くじ協会の助成を受けて実施している。

② 「今日から始めるオーラルフレイル対策」 8020読本

オーラルフレイルの理解・認識を広めるため、お口の衰えを予防することの重要性を広く国民に伝える小冊子「今日から始めるオーラルフレイル対策」を作成した。本小冊子は全国の保健所や行政や関係団体、賛助会員等に配布・周知を行い、あわせてホームページにも掲載した。

(3) 第20回フォーラム8020の開催

「8020運動とオーラルフレイル対策の地域包括ケアシステムでの展開」をテーマに令和4年12月10日(土)に開催した。第20回となる本フォーラムは3年ぶりに参加者を募り、開催にあたっては、参加者・関係者の感染対策を十分に行い、事前登録制・抗原検査キット・健康チェック表等を用いた感染症対策を行い実施した。

今年度のフォーラムは本財団が8020運動の推進と共に日本歯科医師会と歩みをあわせて進めているオーラルフレイル対策の推進経緯や、地域包括ケアシステムが求められている各地域の役割・課題においてどのように活かせるかを改めて検討し、産学官民が今後地域でオーラルフレイル対策・フレイル予防を推進するために活かせることや必要なこと等の講演・総合討論を行った。

なお、講演の内容(講演動画)はホームページに掲載し、報告書を各関係方面へ発送した。

<開催概要>

テーマ「8020運動とオーラルフレイル対策の地域包括ケアシステムでの展開」

○開会の辞・趣旨説明：佐藤 保(公益財団法人8020推進財団 副理事長)

○基調講演「口腔ケアが果たす地域包括ケアシステムへの貢献」

講師：田中 滋 氏(埼玉県立大学 理事長・慶応義塾大学 名誉教授)

○講演1「地域包括ケアシステムの推進に向けた厚生労働省の取組

～歯科を中心に～」

講師：古元 重和 氏(厚生労働省 老健局老人保健課長)

○講演2「フレイルとオーラルフレイル」

講師：飯島 勝矢 氏(東京大学 高齢社会総合研究機構

機構長・未来ビジョン研究センター 教授)

○講演3「オーラルフレイルの概念を円滑に展開するために：

多職種での共通認識の必要性も含め」

講師：平野 浩彦 氏(東京都健康長寿医療センター

歯科口腔外科部長・研究所研究部長)

○講演4「日本歯科医師会におけるオーラルフレイル」

講師：小玉 剛 氏(公益社団法人日本歯科医師会 常務理事)

○総合シンポジウム

座 長：佐藤 保 副理事長

パネリスト：田中滋氏、古元重和氏、飯島勝矢氏、平野浩彦氏、小玉剛氏

(4) 8020運動ポスターの募集

ポスター制作を通じて、8020運動や歯の健康に対する認知・理解をより一層高めることを目的に「8020運動ポスター」の募集を行っている。

令和4年度は4月1日から9月30日までに応募のあった237作品について11月2日(水)に審査会を開催し、12作品を選出した。

＜最優秀賞(1名)＞櫻井 りん

＜優秀賞(3名)＞太田 伊織、松崎 紋実、澤田 舞

＜入 選(8名)＞古川 功、外崎百萌子、佐々木美樹、大戸 遥陽、齋藤 聖矢、
石井 碧、高谷 真央、上田 梨歌

なお、審査結果・入選作品・受賞者のコメントをホームページに掲載し、併せて会誌「8020」第22号でも紹介した。

(5) 8020推進財団理事長賞の贈呈

歯の維持がその後の健康との関わりを含め、人生に大きく影響することの重要性について8020達成者の表彰を通して社会に提言・理解を促進することを目的に8020推進財団理事長賞を贈呈した。被表彰者は各都道府県歯科医師会を通じて推薦申請され、都道府県歯科医師会が行っている事業にて表彰を行っている。

令和4年度は、青森県、岩手県、宮城県、山形県、茨城県、栃木県、千葉県、埼玉県、静岡県、愛知県、三重県、富山県、石川県、福井県、滋賀県、大阪府、広島県、島根県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、熊本県、宮崎県の26都府県より申請がなされ、賞状を授与した。

(6) 噛むカムチェックガムを用いた8020普及啓発事業

8020運動の推進・歯の健康保持に対する関心を高める一環として、噛むカムチェックガムを用いた8020普及啓発事業を進めており、令和4年10月に同事業への協力依頼文書並びに、噛むカムチェックガムを都道府県歯科医師会に配布した。

実施協力機関による本事業の実施データは同ガムの使用に基づく普及啓発効果の把握と事後評価、その他必要とされる啓発事業への活用ために情報収集しており集計を進めている。

(7) ロゴマークの普及

本財団のロゴマークを商品や制作物に使用することで8020運動を普及啓発する目的に、賛助会員からロゴマーク使用申請があったものに対して審査し使用を許可している。

令和4年度は賛助会員から10件のロゴマーク使用申請があり、ロゴマーク使用許可審査委員会で使用目的・用途、制作物や商品が8020運動に相応しいものか、ロゴマーク使用規約に準拠しているかなどの審査を実施し理事長に報告の結果、全ての申請に対してロゴマークの使用を許可した。

(8) 歯科保健活動事業報告会・公募研究発表会の開催

地域や研究機関を通じて8020運動に関わる活動・研究を広く周知することを目的に、歯科保健活動事業および公募研究の中から地域等で取り組みやすい方法・事業例や8020運動に興味関心を抱くような課題を各3題選定し、報告会・発表会を開催している。

今年度は新型コロナウイルス感染状況を鑑み、令和2年度に採択された事業・研究課題より講演・質疑応答の収録し、令和4年10月13日よりホームページで公開した。

① 歯科保健活動事業（令和2年度報告より）

ICT（Information and Communication Technology）を用いた 摂食嚥下リハビリテーションの遠隔診療システムの構築 （実施団体：一般社団法人埼玉県歯科医師会）
終末期において歯科医療職がターミナルケアに関わるための啓発用ツール作成事業 （実施団体：一般社団法人奈良県歯科医師会）
NPO との協働による住民参加型歯科保健推進事業（は～もに～プロジェクト） －事業紹介パンフレットおよび事業の事例・実施マニュアル冊子の作成－ （実施団体：一般社団法人新潟県歯科医師会、は～もに～プロジェクト）

※令和2年度報告書提出当時の団体名で記載

② 公募研究事業（令和2年度報告より）

高齢者の口腔機能と施設入所・死亡との関係に関する地域疫学研究 －日常の生活環境と習慣（人とのつながり・発声頻度・咀嚼）は 予後に影響を与えるか－ （研究者：名古屋大学大学院医学系研究科（予防医学） 特任助教 永吉 真子）
摂食嚥下障害に対するオンライン診療の有用性についての研究 （研究者：神奈川歯科大学全身管理高齢者歯科学分野 診療科准教授 原 豪志）
通いの場に参加する高齢者におけるオーラルフレイルの実態と 歯科介入ニーズの把握に関する調査研究 （研究者：公益社団法人日本歯科衛生士会 理事 小原 由紀）

※令和2年度報告書提出当時の所属で記載

（9）後援等名義使用の許可

令和4年度は以下の関係団体より依頼を受け、後援名義の貸与を了承した。

- ・第43回むし歯予防全国大会 in ISHIKAWA
（申請日：令和4年4月6日）
主催：NPO 法人日本フッ化物むし歯予防協会
- ・世界口腔保健学術大会記念「第27回口腔保健シンポジウム」
（申請日：令和4年5月20日）
主催：日本歯科医師会
- ・第43回全国歯科保健大会
（申請日：令和4年8月9日）
主催：厚生労働省・日本歯科医師会
- ・全国生活習慣病予防月間2023
（申請日：令和4年9月5日）
主催：日本生活習慣病予防協会
- ・第21回秋田県歯科保健大会並びに歯科医療フォーラム
（申請日：令和4年10月5日）
主催：秋田県、秋田県教育委員会、秋田県歯科医師会

- ・いい歯キラメキ2023キャンペーン サンスターファミリーミュージカル
(申請日：令和4年12月6日)
主催：サンスター株式会社

(10) ホームページの整備

「8020運動」のさらなる周知・啓発、歯と口の健康及び全身との関係に関する情報を広く国民・社会に提供するため、ホームページの整備・充実を進めている。

令和4年度は国民向けコンテンツの「ナオミ通信」「ペスカのおすすめ」「8020動画コーナー」の情報更新・充実化や、「オーラルフレイル対策」について国民に周知するための啓発小冊子（8020読本）と連動したコンテンツを作成した。

また、歯科関係者向けに歯科口腔関連情報をまとめた「データバンク」の情報更新・充実化も進めている。

(11) 8020アンケート・プレゼントキャンペーン（第13弾）

令和4年11月1日から令和5年2月28日まで、本財団のホームページにおいて、一般の方を対象に「8020運動」の認知度や、財団ホームページの閲覧・利用状況等に関するアンケート調査を実施した。アンケート参加者から抽選で100名に本財団発行の8020啓発小冊子とサンスター株式会社の協力による賞品をプレゼントした。

なお、アンケートから「8020運動」の認知度が78.4%にのぼることが分かった。また、本財団ホームページの閲覧目的は「歯のみがき方、お口の手入れの方法を知るため」が58.2%、「歯やお口についてのマメ知識」が50.7%、「生活情報を知るため」が28%との調査が得られた。

(12) 歯科口腔保健法の制定及び歯科保健条例の制定マップ

平成23年8月10日に歯科口腔保健法が公布され、都道府県における「歯科保健条例」の制定状況を本財団ホームページ内のマップにまとめ、国民に周知している。

令和5年3月末現在、45道府県および175市区町村で条例が制定されている。

(13) 調査研究事業

8020運動や歯科・口腔の健康と全身の健康の関連等について、調査・研究を実施している。

① 事業所を対象とした歯科健診及び保健指導の介入研究

令和3年度に引き続き、歯科健診未導入の中小企業等を対象に唾液検査試験紙による歯周病リスク判定と術者みがきによる指導を中心とした歯科健診を予定していたが、コロナ禍による感染リスクを鑑みて調査が中止となった。また、令和2年度調査者へのアンケート調査等も予定したが、実施は見送ることとなった。

② 職域等における歯科口腔保健のエビデンス収集

令和3年度作成した「職域等で活用するための歯科口腔保健エビデンス集2021年度版」の増刷発行を行い、希望する団体等に追加配布を行った。

③ 職域等で活用するための歯科口腔保健推進の手引き

令和2年度に作成した「職域等で活用するための歯科口腔保健推進の手引き」の更新版として「職域等で活用するための歯科口腔保健推進の手引き2022年度版」を作成し、関係団体等への配布並びにホームページへ掲載した。

(14) 調査研究事業等検討会

本財団では8020運動や歯科・口腔の健康と全身の健康の関連等について調査研究事業を実施しているが、新たな課題や更なる8020運動推進のための調査研究事業等について企画・意見交換等を行うため、今年度改めて検討会を設置した。

検討会では、今後、本財団としての調査研究事業の在り方や方針、本財団の立場や特性を活かした企画、今後取り組むべき課題の整理等を中心に協議した。検討会で出された意見は小委員会にてさらに検討を行い、本財団の調査研究が広く活用されるための課題整理し、検討会として中間報告書を取りまとめた。

(15) 助成事業

① 令和4年度8020公募研究事業

令和4年8月31日（水）に8020調査研究委員会を開催し、7月31日の締切りまでに応募のあった44題の公募研究申請について審査を行い、理事会を経て下記の16題の採択と助成交付額を決定した。

研究課題と申請者等は下表のとおり。

<公募研究課題>

1. 歯科口腔保健に関する疫学研究
2. 8020と全身の健康（生活習慣病、フレイル、オーラルフレイル、認知症、ADL、QOL等）に関する研究
3. 介護・医療（終末期医療を含む）等に関する研究
4. 小児・高齢者の口腔機能（摂食・嚥下機能を含む）及び口腔健康管理等に関する研究
5. オーラルヘルスプロモーション及び歯の喪失防止に関する研究
6. 自由研究課題

申請者	所属	職名	研究課題
菅野 勇樹	東京女子医科大学 歯科口腔外科学講座 口腔顎顔面外科学分野	准講師	歯科・口腔外科医療従事者における SARS-CoV-2 抗体保有率の継続的多施設疫学調査
岡田 芳幸	広島大学大学院 医系科学研究科(病院) 障害者歯科	教授	介助者における口腔ケア時の部位別汚染状況の検証と媒介感染の予防法の確立
武藤 麻未	北海道大学 歯学院 歯科矯正学教室	助教	妊婦の血中ビタミンD 欠乏は胎児の歯牙形成へ影響を及ぼすか
財津 崇	東京医科歯科大学 健康推進歯学分野	助教	国立がんセンターコホートにおける口腔と全身の健康の関連：歯科医師会と大学の連携研究
山本 俊郎	京都府公立大学法人 京都府立医科大学附属病院(歯科)	歯科診療副部長・講師	健康長寿な 8020 達成者における新規ポリマーを用いた P. gingivalis 外膜小胞による口内-腸内の関連について
神尾 敬子	九州大学病院 呼吸器科	助教	口腔常在微生物叢が肺常在微生物叢と呼吸機能低下に及ぼす影響の検討による、慢性閉塞性肺疾患の一次予防アプローチの開発
真柄 仁	新潟大学 医歯学総合病院	講師	口腔機能低下症改善に寄与する要因を検証する
三上 理沙子	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 生涯口腔保健衛生学分野	特任助教	口腔疾患および口腔機能が人工透析患者の Malnutrition Inflammation Atherosclerosis (MIA) 症候群に及ぼす影響

丸山 広達	愛媛大学（大学院農学研究科）	准教授	中高年者における刺激時唾液分泌量と筋力・運動機能・身体活動との関連
長谷川 陽子	新潟大学大学院 医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野	講師	機械学習を活用した骨密度の予後予測モデルの構築と検証
山中 玲子	岡山大学病院 (医療支援歯科治療部)	助教	周術期ガム咀嚼トレーニングは食道がん術後のフレイルの進行を予防するか
渡邊 諒	朝日大学歯学部	助教	義歯装着が高齢者の歩行運動に及ぼす影響 ー3次元解析システムによる検討ー
平石 典子	東京医科歯科大学歯学部 う蝕制御学分野	講師	根面う蝕細菌叢のゲノム解析・生理代謝機能解析
植原 治	北海道医療大学歯学部 口腔構造・機能発育学系 保健衛生学分野	講師	新型コロナウイルスワクチン接種による唾液の免疫持続性および口腔細菌叢の変化
栗田 浩	国立大学法人 信州大学 医学部歯科口腔外科学教室	教授	新型呼吸器系ウイルス感染症流行に対する歯科医療提供体制の構築に関する研究： 長野県における新型コロナウイルス感染流行下での歯科医療提供状況調査
竹原 祥子	新潟大学大学院 医歯学総合研究科 口腔健康科学講座 予防歯科学分野	准教授	保健政策概念モデルHealth Policy Triangle による8020運動の政策分析 ー高齢化の進む西太平洋地域での日本型歯科保健政策応用を目指してー

② 令和4年度歯科保健活動事業への助成交付

8月31日（水）に地域歯科保健活動推進委員会を開催し、6月30日の締切りまでに応募のあった31題の歯科保健活動事業助成交付申請について審査を行い、理事会を経て下記の26題を採択し、各事業に対して助成交付を行った。

事業名と申請団体名は以下のとおり。

申請団体	事業	実施組織
一般社団法人 岩手県歯科医師会	障がい者における生涯歯科健診へのアプローチ in Iwate	一般社団法人岩手県歯科医師会
一般社団法人 長野県歯科医師会	こども8020推進員育成事業	一般社団法人長野県歯科医師会
一般社団法人 新潟県歯科医師会	歯科医療従事者の保健指導力向上による 「かかりつけ歯科医」機能強化事業	一般社団法人新潟県歯科医師会 公益財団法人新潟県歯科保健協会
一般社団法人 愛知県歯科医師会	小学生向け「お口の健康」啓発のための 視聴用動画作成事業	一般社団法人愛知県歯科医師会
一般社団法人 石川県歯科医師会	フッ化物洗口普及啓発事業	一般社団法人石川県歯科医師会
一般社団法人 奈良県歯科医師会	「歯科」からのメタボ対策研修会 ～咀嚼・食行動の視点を取り入れた生活習慣 病対策について～	一般社団法人奈良県歯科医師会
一般社団法人 徳島県歯科医師会	障がい児・者のための口腔ケア支援事業	一般社団法人徳島県歯科医師会、 徳島大学、 徳島県肢体不自由児者父母の会連合会、 バリフリBOX∞（無限大）実行委員会

公益社団法人 香川県歯科医師会	歯薬連携強化によるかかりつけ歯科医機能の 充実を目的とした連携ネットワーク推進の ためのパイロット事業（3）	香川県歯科医師会、 徳島大学歯学部予防歯学分野、 まんのう町国保造田歯科診療所
一般社団法人 会津若松歯科医師会	医科歯科連携の事業	一般社団法人会津若松歯科医師会
公益社団法人 東京都向島歯科医師会	オーラルフレイル、介護予防等の普及啓発・ 調査研究事象	公益社団法人東京都向島歯科医師会、 本会会員歯科医院、 高齢者包括支援総合センター
一般社団法人 杉並区歯科医師会	地域高齢者の食支援のための多職種連携事業	杉並区歯科医師会、 杉並区歯科保健医療センター 共催）杉並区医師会、杉並区薬剤師会、 地域の介護職
公益社団法人 東京都八南歯科医師会	日野市歯科医師会オーラルフレイル予防 促進事業	公益社団法人東京都八南歯科医師会 日野支部（日野市歯科医師会）
一般社団法人 東京都東久留米市 歯科医師会	東久留米市内の保育園における口腔衛生指導	一般社団法人東久留米市歯科医師会、 公益社団法人東京都歯科衛生士会、 東久留米市
一般社団法人 東京都立川市歯科医師会	障害者施設歯科健診及び障害者歯科診療所 開設事業	一般社団法人東京都立川市歯科医師会
一般社団法人 横浜市歯科医師会	幼児期のう蝕罹患率の低下ならび乳歯列期 から混合歯列期の口腔ケア及びかかりつけ 歯科医受診勧奨を目的とした「しおり」や We b活用による啓発活動	一般社団法人横浜市歯科医師会
一般社団法人 厚木歯科医師会	令和4年度厚木北公民館学級講座高齢者 お口の健康づくり教室（歯科健診+お口の健康 体操）	実施主体）厚木市立厚木北公民館、 （一社）厚木歯科医師会 協力）厚木・愛甲歯科衛生士会、 厚木市健康づくり課
公益社団法人 長野市歯科医師会	障害者施設での歯科健診、および口腔ケアの 実施	公益社団法人長野市歯科医師会
公益社団法人 西春日井歯科医師会	オーラルフレイルの早期発見に於ける口腔観察 シートの有効性及びその活用に関する調査 研究	西春日井歯科医師会、 西春日井福祉会
公益社団法人 高松市歯科医師会	病院入院患者を対象とする口腔ケア活動事業	高松市歯科医師会 地域保健Ⅲ部会 訪問歯科診療研究会
一般社団法人 福岡市歯科医師会	生涯を通じた歯科健診・保健事業（成人・ 高齢者に対して）	一般社団法人福岡市歯科医師会
一般社団法人 佐世保市歯科医師会	オーラルフレイルサポーター養成事業	佐世保市歯科医師会、 佐世保市山澄地域包括支援センター
荒尾市歯科医師会	認知症コホート調査における認知症と歯科疾患 の関連研究	荒尾市歯科医師会、 熊本大学病院 歯科口腔外科
一般社団法人 八千代市歯科医師会	「咀嚼能力の維持・向上を期待した簡便な トレーニング～ガム噛みトレーニング～」と 転倒リスクの相関性評価	一般社団法人八千代市歯科医師会、 合同会社 UNTRACKED、新八千代病院、 東京医科歯科大学摂食嚥下リハビリテー ション学分野、八千代市（後援）
特定非営利活動法人 はーもにープロジェクト	地域歯科保健サポート事業 【人材バンクとネットワーク形成】	特定非営利活動法人 はーもにープロジェクト

特定非営利活動法人 アダプテッドスポーツ サポートセンター	2022 年度 I (アイ) ボッチャ 2022 In 大阪大会 ～「噛む」+「スポーツ」で健康長寿を達成 しよう！	主催) 特定非営利活動法人アダプテッド スポーツサポートセンター 後援) 大阪府、大阪府障がい者スポーツ センター協会 他 協力) 大阪歯科大学附属病院障がい者 歯科、大手前短期大学歯科衛生 学科 他
名古屋市学校歯科医会	DVD「歯肉があぶない！（令和版）～歯肉を 守ろう～」制作	名古屋市学校歯科医会

③ 歯科保健活動助成事業・8020公募研究の報告書作成

令和3年度歯科保健活動助成事業および令和3年度8020公募研究の成果をまとめた報告書をそれぞれ作成し、令和4年11月に賛助会員並びに関係方面に配布した。また、各報告書抄録をホームページに掲載し、助成事業を周知した。

④ 8020公募研究課題 論文作成状況に関するアンケートの実施

本財団が助成を行った研究課題の論文作成状況について、平成30年度から令和3年度までに採択された研究課題の申請者78名を対象に論文作成の有無や作成時期、掲載誌等のアンケートを実施し、研究成果を財団ホームページ等を通じて広く周知するためにデータ収集を行った。

(16) 会員レターの発行

本財団の活動報告をまとめた会員レターを年2回発行し、賛助会員等に送付・報告している。本年度は8月に第32号、3月に第33号を発行した。

(17) 賛助会員証の発行

本年度の入会者に賛助会員証を発行・送付した。